

県フラワーパーク

準「恋人の聖地」に

バラ3万株NPO選定

プロポーズにふさわしい観光スポットをNPOが選定する「恋人の聖地」に関連し、石岡市下青柳の県フラワーパークが、聖地に準じる「恋人の聖地サテライト」に選定された。サテライト選定は県内で初めて。800品種3万株のバラで有名な同園では、カップルなど多くの集客にも期待を寄せる。

恋人の聖地は、2006年からNPO法人地域活性化支援センターが少子化対策の一環として、全国の観光地域の中からプロポーズにふさわしいスポットとして選定。同サテライトはこれに賛同する施設から選ばれる。

全国では138カ所の聖地、84カ所のサテライトが選ばれている。県内の聖地は、大子町の袋田の滝と笠間市。同園は1月1日にサテライトに選定された。

同園は、昨年5月にヨーロッパのバラ園をイメージした「庭園風バラ園」を開設した。12月からは、グリム童話を再現したというイ

ルミネーションも始め、幅広い年代の集客に向けて動きだしている。

イルミネーションは1月16日から、LED（発光ダイオード）を10万個増やし約50万個にした。同園の玄関口となるバラ園を光の粒が包み、幻想的な世界を演出している。

千葉県から来た20歳のカップルは「予想以上にきれいでびっくりした。素晴らしい光の空間」と満足そうに話した。

イルミネーションは14日のバレンタインデーまで開催され、12月14日は来場者にチョコレートがプレゼントされる。

同園関係者は「選定を受けて、もっと若い人に来てほしい。プロポーズする場所にはピッタリだと思う」と期待を込めた。同園は今後、園内での結婚式などを積極的に受け付ける考え。

問い合わせは同園 ☎0299(42)4111
1. (小林太郎)



イルミネーションに包まれた庭園風バラ園で「幸福の鐘」を鳴らすカップル＝石岡市下青柳